



# 第77回兵庫県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会西播地区予選会

ウインク陸上競技場 令和7年7月19日(土) 20日(日)

## 1年男子 -トラック-

100mは、2組を走った森 脩汰(姫路西)が、11秒62をマークし1位。1組の安東(姫路商)も同じく11秒62でフィニッシュしたが、1000分の5秒差で森に軍配。3位には11秒67で村上(東洋大姫路)が滑り込んだ。200mは前半から果敢に攻めた前田 柊(姫路商)が安東(同)と森(姫路西)を抑え23秒01で勝利を収めた。400mは正城 颯太(播磨夢福)が51秒99で圧勝。2位の前田(姫路商)は52秒86、3位の井上(飾磨工)は52秒89。800mは昨年度兵庫中学ランキング4位の桶口 陽祐(赤穂)が2分02秒07で圧倒的な強さを見せた。

1500mは吉浦(姫路西)が積極的にレースを展開し1200mまで先頭をキープ。残り200mで均衡を破った河野 丞佑(姫路商)が4分15秒68でフィニッシュ。2位の吉浦は4分18秒74であった。5000mは末次(姫路西)を先頭に、1000m-3分31秒、2000m-7分01とややスローなレース展開。その後は丈迫(同)が先頭に立ちペースアップ。3000m-10分24秒、4000m-13分50秒で通過し勝負は残り1000m。姫路西勢の後ろで粘りの走りを見せていた河野 丞佑(姫路商)が一気にギアを切り替えて後続を引き離し、16分55秒67の1位でフィニッシュ。2位の丈迫は17分06秒44、3位の末次は17分13秒07であった。

110mJHは風を味方につけた1組の櫛橋 律輝(姫路商)が15秒36で勝利。昨年度兵庫中学ランキング8位の中井(播磨夢福)は向い風1.0mの中で行われた2組を15秒91で駆け抜け2位に。400mH1組では徳網(日ノ本)が序盤から積極的なハードリングで独走するも、ハードルと接触して失速。1分01秒82の組1着でゴールするも悔しさを滲ませた。2組の中井 悠陽(播磨夢福)が最後まで安定感のある力強い走りを見せ59秒31の1位でフィニッシュした。

3000mSCでは河崎 優太(龍野北)を先頭に1000m-3分16秒、2000m-6分52秒で通過し独走状態に。そのまま他の追従を許さず10分36秒24で圧勝。県ユース大会での活躍に大いに期待できる。今年度より実施された3000mWでは山田 結翔(相生産)が20分30秒01で1位。

## 1年男子 -フィールド-

走高跳では1m70をクリアした高本虎太郎(姫路)が勝利。1m65をクリアした藤本(相生)と津田(赤穂)は試技数差で藤本に軍配。走幅跳は昨年度兵庫中学ランキング5位の大井 純喜(姫路商)が1回目に6m22を跳び好発進。その後は試技ごとに変わる風に翻弄されながらも6m32(+2.4)まで記録を伸ばし圧勝。4回目に6m21を跳んだ中筋(姫路工)が2位。三段跳では前田 将吾(姫路東)が1回目に13m01を跳び首位に。走幅跳を制した大井(姫路商)が安定した跳躍を見せるも僅かに及ばず12m62で2位。

砲丸投では安定した投てきで他を圧倒した松田 涼成(飾磨工)が10m53で、円盤投では4投目に31m95を投げた永見 隼人(姫路工)がそれぞれ1位で県ユース大会への出場権を獲得。永見はハンマー投も32m08で制し2種目制覇を達成。県ユース大会でのさらなる記録の更新に期待したい。やり投は110mJHを制した櫛橋 律輝(姫路商)が5投目に44m96を投げ勝利。



# 第77回兵庫県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会西播地区予選会

ウインク陸上競技場 令和7年7月19日(土) 20日(日)

## 2年男子 -トラック-

100m1組では、栗岡(姫路商)が11秒45をマークするも、2組の中崎 悠月(姫路商)が11秒11でフィニッシュ。昨年に続き1位で県ユース大会出場を決めた。200mでは1組の黒田 悠希(姫路商)が22秒19で1位、2組の中崎(同)が22秒46で2位。400mで圧巻の走りを見せたのは近畿IH8位の黒田 悠希(姫路商)。序盤から積極的な走りで後続を引き離し、48秒38の好タイムでフィニッシュ。県ユース大会でもハイレベルなレースに期待したい。1分58秒95で800mを制したのは西播IHのチャンピオン・藏屋 歩都(姫路商)。100mから800mまで姫路商業勢が首位を独占し、選手層の厚さを見せつけた。

昨年同様、1500mと5000mの長距離2種目でトップ通過を果たしたのは中島 丈瑠(姫路)。昨年度の近畿ユース大会1500m第2位、5000m第7位の実力者が今年度はどのような走りをするのか、その活躍に注目したい。

110mJHでは山本創士郎(飾磨工)が序盤からぐんぐん加速。福永(姫路)との接戦を15秒19で制した。400mHは柏原 蓮(姫路飾西)が木下(播磨夢福)をかわし、57秒33で制した。炎天下の中行われた3000mSCでは、中田 瑠弥(姫路工)が一度も先頭を譲らず10分08秒10の1位でフィニッシュ。3000mWは小西 悠仁(姫路工)が金治(相生産)との接戦を14分55秒38で制した。2位の金治は14分55秒97。

共通4×100mは短距離陣の層が厚い姫路商業[黒田-中崎-安東-栗岡]がロスの無いバトンパスで他の追従を許さず41秒67で他を圧倒。姫路西が43秒88で2位、東洋大姫路が44秒17で続いた。共通4×400mは近畿IH決勝メンバーを2名擁する姫路商業[中崎-栗岡-野間-黒田]が3分18秒30の好タイムで制した。姫路商業は県ユース大会でも台風の目となるか、その活躍から目が離せない。

## 2年男子 -フィールド-

走高跳では柴田龍之祐(東洋大姫路)が1m84を跳び貫録を見せた。走幅跳は昨年度近畿ユース大会4位の栗岡 駿(姫路商)が最終6回目に6m99をマークし圧勝。県ユース大会では7m超えの活躍を期待したい。三段跳は池部 諒哉(飾磨工)が最終6回目に12m93をマークし力の差を見せた。

砲丸投は昨年度の近畿ユース大会を13m56で制した檜崎 蓮(姫路飾西)が12m96で貫録勝ち。県・近畿ユース大会2連覇の期待が高まる。円盤投は2投目に32m10を投げた土田 陽翔(飾磨工)が1位。ハンマー投は、砲丸投の覇者・檜崎 蓮(姫路飾西)が5投目に41m69まで記録を伸ばし圧勝。やり投では今年度近畿IHに出場した阿曾 択実(網干)が3投目に50m78をマーク。最終6投目には52m55まで記録を伸ばし実力者の貫録を見せた。



# 第77回兵庫県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会西播地区予選会

ウイंक陸上競技場 令和7年7月19日(土) 20日(日)

## 1年女子 -トラック-

100mは昨年度兵庫中学ランキング6位の津田 愛果(姫路女学院)がスタートから体一つリードし12秒40の好タイムで堂々の1位通過。2位の榮藤(姫路商)は12秒96。津田は200mも25秒65で制し、短距離2種目で県ユース大会上位入賞を目指す。400mは成瀬 杏奈(姫路商)が唯一1分を切る59秒98で1位。800mは高馬 碧(龍野)が積極的なレースを展開し2分24秒98で圧勝。

1500mと3000mで力の差を見せたのは新庄 千穂(龍野)。ストライドを活かした大きな走りで後続を引き離し、1500mは5分01秒16で、3000mは10分35秒16で圧倒的な強さを見せた。県ユース大会でも積極的なレースが期待される。

100mYHを制したのは長澤 唯(姫路女学院)。リーチを活かしたダイナミックな走りで15秒00をマーク。長澤は400mHも1分04秒22で制し、県ユース大会上位入賞に向け好発進。3000mWは川村 仁心(姫路女学院)が19分21秒50でフィニッシュした。

## 1年女子 -フィールド-

走高跳はただ一人の出場者、正野 愛結(県立大附)が1m05で勝利。走幅跳は松下 礼愛(姫路商)が1回目に4m62(+2.8)をマークし好発進。松下は3回目にさらに4m71(+3.6)まで記録を伸ばし勝負あり。三段跳は走幅跳2位の西郷真由美(日ノ本)が9m77(+2.5)で1位通過。

砲丸投は後半に徐々に調子を上げた多田日夏詩(姫路女学院)が最終6投目に9m20まで記録を伸ばし勝利した。円盤投は1年生ながら西播IHを制した石田 羽音(日ノ本)が2投目に33m75を投げ、格の違いを見せた。ハンマー投は井奥 絆咲(姫路飾西)が3投目に23m19を投げ勝利。やり投は弓張 真莉(赤穂)が6投目に19m10を投げ、県ユース大会出場権を獲得した。



# 第77回兵庫県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会西播地区予選会

ウインク陸上競技場 令和7年7月19日(土) 20日(日)

## 2年女子 -トラック-

100mは尼ヶ塚結愛(姫路)が唯一の12秒台となる12秒79でフィニッシュ。成清(播磨夢福)が13秒07で2位、佃(太子)が13秒41で3位。

200mの西播高校記録[24秒27]に迫る24秒47の好タイムで制したのは近畿IH400mのチャンピオン・幸長 愛美(姫路女学院)。ホットスタッフフィールド広島で行われる全国IHでの活躍が大いに期待されると同時に、ユース大会においては権利を行使して出場できる400mと合わせて県、近畿ユース大会2種目制覇が期待される。

400mは日高 美夕(琴丘)が1分01秒74で快走。2位の坂本(姫路東)は1分02秒34、3位の小嶋(姫路商)は1分02秒39。800mは全国IHに4×400mリレーで出場する長谷川真理(姫路女学院)がケガの影響を物ともせず2分18秒67で圧勝した。

1500mと3000mは仲田 そら(姫路)が躍動。昨年度両種目で1位に輝いた佐伯(姫路女学院)を退け、1500mは4分55秒47、3000mは10分35秒15で灼熱の戦いを制した。県ユース大会での活躍が大いに期待される。

100mYHは向い風2.6mの中、県IH4位の家氏 美和(姫路飾西)がキレのあるハードリングを見せ14秒62で他を圧倒。家氏は得意の400mHでも1分01秒07の好記録で1位。2年生ながら今年度近畿IH決勝に進出した実力者がその強さをいかんなく発揮した。3000mWは県IH4位の伊賀 菜花(姫路女学院)が16分09秒21でフィニッシュ。県ユース大会での活躍に期待したい。

共通4×100mは実力者が揃う姫路女学院[津田-幸長-森垣-吉見]がバックストレートで早くもリード。安定感のあるバトンパスで他の追従を許さず47秒90で快走。2位の姫路商は49秒28、3位の姫路飾西は50秒07。共通4×400mは姫路女学院[長澤-幸長-津田-森垣]が3分53秒24で貫録勝ち。県、近畿ユース大会での活躍に大いに期待したい。2位の姫路飾西は4分02秒42、3位の姫路商は4分07秒76。

## 2年女子 -フィールド-

走高跳は3回目に1m60をクリアした小寺澤杏俐(姫路女学院)が勝利。昨年一位の井上(姫路東)が1m48で続いた。走幅跳は長安 愛海(姫路飾西)が2回目に5m49(+2.5)を跳び圧勝。長安は三段跳でもスピードを生かして10m超えの安定した跳躍を披露。10m64(+3.0)をマークし、跳躍種目2種目で1位通過。2位の濱本(同)は10m25であった。

砲丸投は三木 小夏(姫路商)が4投目に9m42を投げ1位。2位の高橋(姫路飾西)は9m17であった。円盤投は石田 優花(姫路飾西)が2投目に30m26を投げ昨年に続き1位で県ユース大会へ。石田はハンマー投でも唯一の30m超えとなる31m91で勝利を飾った。やり投は稗田 かずみ(姫路西)が2投目に30m60を投げ好発進。4投目には30m82まで記録を伸ばして力の差を見せた。県ユース大会では県IHの雪辱を果たしたい。